SK-Gdの Gd追加導入と現状

東京大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設 細川 佳志



スーパーカミオカンデ(SK)



- 50ktonの大型水チェレンコフ検出器
 - 神岡地下1000m(2700m.w.e)
 - 内部検出器:11129個の20inch PMT
 40%の光電被覆率(SK-II 除く)



幅広いエネルギー領域に対応



2023/3/3 新学術「地下宇宙」第9回超新星ニュートリノ研究会 細川佳志

- エネルギー, ニュートリノタイプ, 到来方向



SK-Gd(0.011%)での探索状況

Preliminary





2023/3/3 新学術「地下宇宙」第9回超新星ニュートリノ研究会 細川佳志

5 **/18**



Gd dissolving system upgrade

- 倍ペースでの導入のためにシステムを改造
- 溶解タンクに張る水量を増加(~0.9 ton→~1.8 ton)
- シャーポンプで効率的に溶解するためのライン(②)を追加
- 溶解タンク底部に硫酸Gdを残さない渦生成ライン(③)にイジェクター追加



On-site works

Preparing Gd powder to be dissolved







On-site works





約1350個の硫酸Gdパックを溶解



Amount of loaded Gd sulfate



大きな問題なく、36日で27トンのGd₂(SO₄)₃・8H₂Oを溶解



Total Gd amount

preliminary

12/18



他の方法でもGd濃度を測定→誤差の範囲で一致

- サンプルした水を原子吸光分析(AAS) : 329 ± 1 ppm
- AmBe線源を用いた較正 : 327~340 ppm

Am/Be source calibration



硫酸ガドリニウム内の不純物量測定



- ・3種類の方法を用いて、溶解前に全37ロットの不純物量を測定
- · 硫酸ガドリ追加後もBGの増加は見られず、太陽ニュートリノ解析に悪影響無し

SK-Gd(0.03%) DSNB探索の展望



HK運転開始予定までに、モデルが予想する領域を広く評価できる

⁹Li事象削減やNCQE系統誤差削減による更なる感度向上を目指している ^{原田トーク} 坂井・田野トーク

SNバースト前兆ニュートリノ



Astrophys.J. 935:40 (2022)



Si burning phaseに放出される前兆ニュートリノによるIBD事象検出可能

- ベテルギウスなら9時間前に発行可能
- KamLANDとMoU結んで、コインシデンスアラートの運用は準備中



まとめ

- ・ Gdを増量して、DSNB信号検出効率を更に向上させたい
 - SK-VI(0.011% Gd)では、Gd導入により信号検出効率が倍程度向上
- 2022年6-7月, SK-GdのGd追加導入が無事完了
 - Gd濃度:0.011wt% → 0.033wt%
 - 中性子線源等を用いたデータ解析でもGd濃度の増加を確認
 - 低E領域の太陽v解析で、追加導入によるBG増加は確認されず
- SK-VIIは0.033% Gd濃度でデータ取得中。DSNBの世界初観測を目指す